

## 会 議 録

会議の名称	第4回 戸田市自治基本条例推進委員会
開催日時	平成30年 8月31日(金) 午後7時00分～ 9時00分
開催場所	戸田市役所 1階東側休憩室
委員氏名	<p>◎□ 大山 宣治      ○□ 横山 誠      □ 柴田 忠雄</p> <p>□ 山田 博満      □ 細井 明美      □ 雨木 恵美</p> <p>□ 播 義也      □ 市川 悦夫      ■ 市ヶ谷 裕乙</p> <p>■ 飯田 峻平      ■ 伊藤 寛幸      □ 林 公子</p> <p>□ 三輪 なお子      □ 十川 拓也      □ 池上 裕康</p> <p>□ 向野 絢子      □ 松下 啓一      ■ 宮崎 快</p> <p style="text-align: right;">( ◎委員長 ○副委員長 )</p> <p style="text-align: right;">( □出席 ■欠席 )</p>
事務局他	協働推進課 後藤課長 石原主幹 駒崎主事
議 題	<p>(1) 先進自治体への視察について</p> <p>(2) 平成30年度自治基本条例フォーラムについて</p> <p>(3) 平成31年度実施事業について</p> <p>(4) 戸田市自治基本条例の見直しの検討について</p> <p>(5) その他</p>
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
議事録確定	<p>平成30年10月2日</p> <p style="text-align: center;">委員長 大山宣治</p>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 委員長挨拶</p> <p>3 議題</p> <p><u>(1) 先進自治体への視察について</u></p>
事務局	<p>会議資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 視察の目的</li><li>・ 視察先</li><li>・ 視察に向けたスケジュール</li><li>・ 予算</li></ul> <p>現段階で視察の出席が難しい委員は、事前に事務局に御報告いただきたい。</p>
委員長	<p>議題(1)について何か意見等ないか。</p>
全委員	<p>《異議等なし》</p>
	<p><u>(2) 平成30年度自治基本条例フォーラムについて</u></p>
事務局	<p>会議資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ フォーラムの概要</li><li>・ フォーラム当日の主な内容</li><li>・ フォーラムの周知、参加者募集の方法(案)</li></ul>
委員長	<p>議題(2)について何か意見等ないか。</p>
委員	<p>無作為抽出による参加者募集というのは、前回のフォーラムでも実施したのか。</p>
事務局	<p>前回のフォーラムでは実施していない。</p> <p>昨年度、推進委員会での審議過程において、フォーラムの参加者増の取り組みとして、無作為抽出された市民へ募集案内を送付することが決定されたことから、今年度のフォーラムから実施するものである。</p>

委 員	無作為抽出した市民に、どのような周知を行うのか。
事務局	無作為抽出された3,000人の市民に対し、フォーラムの案内チラシを送付する予定である。
委 員	無作為抽出された3,000人の市民に、『事前に集まっていたき、フォーラムについて何かを行う』という計画ではないということか。
事務局	今年度については、そこまでの計画には至っていない。 案内チラシを送付した3,000人の市民の中から、フォーラムや自治基本条例に興味を持っていただいた方に参加していただくことを想定している。前回、委員会で提案があったように、無作為抽出された市民に案内チラシを送付することで、これまで市政へ関わりがなかった市民に、市政やまちづくりに興味や関心を持っていただくことを目的としている。また、案内チラシだけでなく事前アンケートを同封することも検討している。
委 員	案内チラシ送付数に対し、約1パーセントの参加率と換算すると、30人～50人程度の参加者が期待できる。
委 員	町会・自治会掲示板へのポスター掲示は、前回、前々回も実施したのか。
事務局	実施している。
委 員	町会・自治会掲示板は、今年度も実施した方がよい。 また、町会・自治会の会議や集まりの場で、町会員・自治会員に、フォーラムへの参加を呼びかけていただくことも依頼すべきである。
事務局	前回、前々回のフォーラムでも、町会長・自治会長に対して、依頼文書と案内チラシを送付し、町会員・自治会員の中で都合の合う方及び興味のある方にお声がけいただくよう依頼しており、各町会・自治会の判断で御協力をいただいている。また、町会・自治会掲示板への掲示は、町会・自治会に未加入の方々が、まち中で掲示板を見ていただくことで、フォーラム開催を周知できる機会となることも目的としている。
委 員	広報戸田市への掲載はどのように予定しているのか。
事務局	本日の審議結果によるが、広報戸田市（10月1日号）への掲載を予定している。広報紙へ掲載するので、町会・自治会を通した案内チラシの全戸配布や回覧は実施しない考えである。

委 員	<p>前回のフォーラムに際し、30部ほど近所の知り合いに案内チラシを配布した。案内チラシに予備があるならば、今回もそのような対応を行いたいと考えている。</p>
事務局	<p>案内チラシは委員による配布分も確保しているので、今回も御協力をお願いしたい。</p>
委 員	<p>市内在住の外国人向けに外国語版の案内チラシは用意しないのか。</p>
事務局	<p>英語訳した案内チラシ作成について、検討する。</p>
委 員	<p>フォーラム参加者のうち、戸田市に在住・在勤の方でも、出身は市外・県外という方も多いと思う。まず、出身地のふるさと自慢をしていただき、その後、戸田市の自慢をしてもらうのがよいのではないか。 例えば、戸田市の地図を見ながら史跡や名所について話し合っていたくというコンセプトもよい。「史ある記マップ」を活用してほしい。</p>
委 員	<p>無作為抽出の対象年齢はどのように設定するのか。</p>
事務局	<p>フォーラムの対象となる方は、一定の年齢以上と考えられるため、年齢層の設定は必要である。</p>
委 員	<p>下限は何歳くらいが適当か。</p>
委 員	<p>中学生でもしっかりとした意見を持っている子はいるので、案内チラシを送ることも有意義であると思う。</p>
事務局	<p>保護者にも案内チラシに目を通してもらえるという点では、年齢が低くても効果はあると考える。</p>
委 員	<p>フォーラム対象者が成人のみではなく、子どもも対象であることを案内チラシに加えてはどうか。子どもの視点による意見を聞くことができるという利点がある。</p>
委 員	<p>グループトークを行うことを考えると、高校生を含めることは妥当だが、中学生には難しいのではないか。</p>
委 員	<p>フォーラムの開催日（11月10日）が、市内小・中学校の学校公開日と重っていることも考えられる。次回以降は、その点についても考慮が必要である。</p>
委員長	<p>無作為抽出の際、若者の参加を促すため、若年層の比率を高くすることも一案である。また、無作為抽出の取り組みは今回が初めてということで、実際の年齢比率で実施してもよい。</p>

委員	年齢設定は、中学３年生～高校１年生を含む１５歳以上に設定してはどうか。
委員長	<p>前回のフォーラムでは、埼玉県立戸田翔陽高等学校に参加いただいた。県立高校であり、市のイベントに対してどの程度協力を仰げるか不明ではあるが、今回も学校を通し案内チラシの配布や広報に協力していただくことは可能か。前回、参加に御協力いただいた関係性もあるので、こういう関係性を続けていくことが大切である。</p> <p>埼玉県立南稜高等学校に働きかけてほしい。</p>
事務局	市内の県立高校に働きかけることは有効である。事務局から依頼を行う。
委員	地域とのつながりを高校側も求めている面があると思うので、今回、フォーラムの広報依頼を行うことは、よい機会と考える。前回のフォーラムでは、戸田翔陽高等学校には、教頭先生や教職員の方に御出席いただいている。
委員長	<p>これまでの議論に、他に意見等はないか。</p> <p>また、無作為抽出の年齢設定は、中学３年生～高校１年生を含む１５歳以上に設定すること、年齢別の比率は実際の年齢比率とすることによいか。</p>
全委員	《異議等なし》
委員長	続いて、２つのグループに分かれてグループワークをしていただく。グループワークの進行は松下委員にお願いしたい。
進行 (松下委員)	<p>グループワークで話し合ってください内容は、</p> <p>①フォーラムのタイトルは「わたしのふるさと自慢」（仮）である。大枠の意味は変えず、さらにインパクトのある表現はないか。</p> <p>②現在の目的（テーマ）をより明確なものにしたい。 フォーラム参加者に、グループトークで具体的にどんなことを話し合ってもらうか。</p> <p>③フォーラムの効果的な周知方法についてである。</p> <p>《２つのグループに分かれてグループワーク》</p>

<p>進 行 (松下委員)</p>	<p>それでは、各グループで出された意見について発表いただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>(1グループ)            タイトル:「わたしのふるさと自慢」            進め方 :            まず、アイスブレイクとして、参加者に自己紹介を兼ねて『出身地自慢』をしてもらう。郷土愛を持ち、立場や年齢が違う方同士が、各々戸田での活動内容や戸田への思いを語り合う中で、戸田市の強みや良さを抽出していく。            その後、未来の子どもたちに、『ふるさと戸田』をどのように守っていきたいか、残していききたいか、そのために自治基本条例が果たす役割は何かについてグループトークしてもらう。</p>
<p>委 員</p>	<p>(2グループ)            タイトル:「わたしのふるさと自慢」            進め方 :            異文化の中で生活し、言葉や文化の壁がある方とも共に歩むという姿勢で、戸田市在住の外国籍の方にも参加していただき、『お国自慢』をしてもらう。また、戸田に住んでよかったことを話しながら、戸田での生活を楽しむための良い情報を共有する場にしたい。これより、戸田の良さが各種SNSで情報発信されていく可能性が広がる。            具体的には、戸田市の地図に良いところをフセンなどで貼付していく。地図の完成後、10年後、20年後にどんな戸田を残したいか集約していく。</p>
<p>進 行 (松下委員)</p>	<p>フォーラムの周知方法は、会議資料や委員から今日提案されたものに加え、市民大学参加者、市議会議員、市職員等からの口コミを期待したい。より多くの人に声をかけて、広報することが重要である。</p>
<p>委 員</p>	<p>フォーラムに知名度の高い有名人を呼ぶと、多くの参加者が期待できると思われる。今後検討してみしてほしい。</p>
<p>進 行 (松下委員)</p>	<p>これでグループワークを終了としたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>議題(2)について他に意見等ないか。</p>
<p>全委員</p>	<p>《異議等なし》</p>

	<b><u>(3) 平成31年度実施事業について</u></b>
事務局	<p>会議資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治基本条例推進委員会の開催（6回）</li> <li>• 自治基本条例フォーラムの開催 （無作為抽出による参加者募集）</li> <li>• 他自治体の取り組みの視察</li> <li>• 自治基本条例啓発品（名入れ）の作成・配布</li> <li>• その他</li> </ul>
委員長	議題（3）について何か意見等ないか。
委員	経営企画課から、「第5次総合振興計画」策定のための協働会議に、委員として推進委員会から4名を推薦いただきたいという依頼があったが、その件も実施事業の一つになるのか。
事務局	<p>推薦された4名が、自治基本条例推進委員会選出委員として協働会議に参加するもので、自治基本条例推進委員会としての実施事業ではなく、個人に委嘱されるものと捉えていただきたい。</p> <p>なお、協働会議委員に希望する方は、是非事務局にお声がけいただきたい。</p>
	<b><u>(4) 戸田市自治基本条例の見直しの検討について</u></b>
事務局	<p>第2期自治基本条例推進委員会に対し、市長からの諮問内容の1項目として、第1期推進委員会における検討に引き続き、条例全体を改めて精査し、見直しについて検討するよう求められている。</p> <p>各委員において、条例全体または各条項について見直しの検討について意見を伺いたい。また、次回以降の推進委員会においても、各委員から意見を伺う機会を設けていく。</p>
委員長	議題（4）について意見はあるか。
委員	<p>第3条第1項「市民の定義」については見直しが必要と考える。</p> <p>また、今期で見直し・検討結果を答申する必要があるか。</p>
事務局	<p>毎回、委員からの意見を取りまとめ、次回以降の推進委員会で審議するということを繰り返していく過程で、審議の結果、どのような結論に至ったかを答申することとなる。そのため、条例の見直し自体が必要かという点も含めて考えていただきたい。</p>

委員	市長への答申の期限は定められているか。
事務局	現委員の任期が満了となる、平成31年11月末である。
委員	市長からの諮問内容は、自治基本条例の見直しの検討であるが、自治基本条例推進委員会条例の見直しはできないのか。
事務局	市長への答申に含めるかどうかは別として、自治基本条例推進委員会条例について意見を交わしていくことは有意義なことである。
委員	自治基本条例推進委員会条例には気になる点があり、見直しの検討について意見がある。次回の推進委員会において、詳細を意見したい。
	<p><u>(5) その他</u></p>
事務局	<p>前回の推進委員会において委員から御提案のあった、市長との意見交換について、今回の推進委員会での実施は、日程調整の関係上見送らせていただいたが、意見交換について市長から御了承をいただいている。実施時期や会場、実施手法などについて、委員長、副委員長に意見を伺い実施案を作成し、審議会で今後決定していただきたい。</p>
事務局	<p>4 事務連絡 第5回推進委員会は、10月下旬の開催を予定している。</p>
	<p>5 閉会</p>